

県南広域振興局長

提出者 アイシン東北株式会社

住所 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地

氏名 代表取締役社長 明石 耕司

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	アイシン東北株式会社	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,688 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	8 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
アイシン東北 本社	岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地	1,688 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度									
	エネルギーの使用量				販売したエネルギー使用量					
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D	E=B-D	二酸化炭素排出 量 (t-CO ₂)	前年度二酸化炭 素排出量 (t-CO ₂)	対前年度二酸化 炭素換算排出量 (t-CO ₂)
原油(コンデンセートを除く)		kl			kl					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl			kl					
揮発油(ガソリン)		kl			kl					
ナフサ		kl			kl					
ジェット燃料		kl			kl					
灯油	3.90	kl	142		kl	142		10	14	-4
軽油	1.60	kl	61		kl	61		4.2	1.5	3
A重油		kl			kl				28	
B・C重油		kl			kl					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス		t	4,664		t	4,664		278	202	77
液化石油ガス(LPG)	93.10	t			t					
石油系炭化水素ガス		千m ³			千m ³					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m ³			千m ³					
石炭	原料炭	t			t					
	輸入原料炭	t			t					
	コークス用原料炭	t			t					
	吹込用原料炭	t			t					
	一般炭	t			t					
輸入一般炭	t			t						
国産一般炭	t			t						
輸入無煙炭	t			t						
石炭コークス		t			t					
コールゲール		t			t					
コークス炉ガス		千m ³			千m ³					
高炉ガス		千m ³			千m ³					
発電用高炉ガス		千m ³			千m ³					
転炉ガス		千m ³			千m ³					
その他の燃料		千m ³			千m ³					
()										
()										
風液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kl			kl					
バイオディーゼル		kl			kl					
バイオガス		千m ³			千m ³					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kl			GJ/kl					
廃棄物ガス		千m ³			千m ³					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料()										
小計①							4,557	293	215	47
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
温水熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	5,739.80	千kWh	49,692		千kWh	49,692		2,301	3,095	-788
電気事業者②(注)取扱契約している場合使用	1,013.04	千kWh	8,763		千kWh	8,763				
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
太陽光	615.60	千kWh	2,216		千kWh	2,216				
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh					
小計③							60,561	2,307	3,095	-788
合計 ①+②+③							65,425	2,600	3,310	-740

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	1,689	kl
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素 2,600 t-CO ₂ 上記以外の二酸化炭素 t-CO ₂
メタンの排出量	t-CO ₂
一酸化二窒素の排出量	t-CO ₂
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO ₂
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO ₂
三ふっ化窒素の排出量	t-CO ₂
合計	2,600 t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・アイシンググループ合算でCO2総排出量を2025年度25%削減(2013年度比)するために、グループ本社から割り付けられた総排出量目標値に基づき評価を行っている。
- ・24年度目標を4,058t-CO2以下として定めたが実績は4,138t-CO2で2.0%増加し未達となった。
(CO2換算係数はアイシンググループで独自に定めた値を使用)
- ・酷暑による空調エネルギー(LPG)、工程立ち上げによる生産動力エネルギーの使用量増加が要因と推定している。
- ・省エネ・再エネ拡大による削減、CO2排出量の多い工程の生産減により売上金額当たりCO2排出量は対前年比2.0%低減した。

【具体的な取組状況】

○省エネルギー活動

- ・生産中でない設備の電源を切り、待機中の消費電力を削減した。
- ・空調の設定温度を夏季・冬季でルール化することで過剰なエネルギー消費を抑制した。
- ・コンプレッサ集中制御装置を導入し、コンプレッサ稼働の最適化を図った。
- ・冬季A重油暖房の使用を止め、エアコンのみで空調をコントロールしエネルギー消費を抑制した。
- ・冬季灯油暖房の使用を抑制し、エアコンのみで空調をコントロールしエネルギー消費を抑制した。

○再生可能エネルギー拡大

- ・23年5月より太陽光発電装置を稼働開始し、24年度は約616千KWh/年を発電した。
- ・23年4月より東北電力の再エネ(水力)由来電力メニューを契約し、24年度は比率を5%から15%に引上げ、約1013千KWh/年を購入した。

○自動車利用抑制

- ・アイドリングストップの活用、急発進、急加速をやめるなど意識啓発しエコドライブを行った。
- ・出張時人数に応じ、最適なサイズの車両使用や相乗りを行い燃費向上に努めた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・省エネルギー教育、環境月間活動で全従業員に啓発・周知を行った。
- ・ホットランナー化やページ回数見直しなどプラスチック材のムダ・ロス削減活動を実施した。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	()	ℓ	2.29 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
軽油	()	ℓ	2.62 kg-CO ₂ /ℓ	kg-CO ₂	
LPG	()	kg	2.99 kg-CO ₂ /kg	kg-CO ₂	
電気		kWh	0.477 kg-CO ₂ /kWh	kg-CO ₂	
その他	()		kg-CO ₂ /()	kg-CO ₂	
合計	0 (0)			kg-CO ₂	

備考1 保有台数欄の()には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

(報告対象外)

【具体的な取組状況】

(報告対象外)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

(報告対象外)